

福島浜通りの復興創生と 国連2030アジェンダSDGs

参加
無料

福島浜通り復興創生キャンパスコンソーシアム設立記念シンポジウム

東日本国際大学、医療創生大学、いわき短期大学、福島高专、いわき市、広野町、楡葉町、いわき商工会議所

開催
日時

2019年 **5月18日** (土)
10:30~17:30

開催
場所

東日本国際大学
1号館201教室
福島県いわき市平鎌田字寿金沢37

タイムスケジュール

| | |
|-------------|---|
| 10:30~11:00 | 開 会 主催者挨拶・来賓挨拶 |
| 11:00~11:30 | 大山 真未 文部科学省国際統括官 |
| 11:30~12:00 | 安栖 宏隆 福島県企画調整部理事 (公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構事務局次長 |
| 12:00~13:00 | 休 憩 (60分) ※学食をご利用ください |
| 13:00~13:30 | ケンタロ オノ 一般社団法人日本キリバス協会代表理事 前キリバス共和国名誉領事・大使顧問 |
| 13:30~14:00 | 海藤 節生 エコロジカルシンガーソングライター (元HOUNDDOG BASS) |
| 14:00~14:30 | 安部 義孝 アクアマリンふくしま館長 |
| 14:30~14:45 | 休 憩 (15分) |
| 14:45~15:15 | 吉田 恵美子 特定非営利活動法人ザ・ピープル理事長 いわきおてんとSUN企業組代表理事 |
| 15:15~15:45 | 中村 隆行 東日本国際大学学長代行、学校法人昌平賢法人事務局長 サステイナブルキャンパス推進協議会副会長 |
| 15:45~16:00 | 休 憩 (15分) |
| 16:00~17:15 | パネルディスカッション テーマ「福島浜通りの復興創生を世界に発信！」 司 会/芥川 一則(福島工業高等専門学校副校長) パネリスト/各講演者 |
| 17:15~17:30 | 閉 会 来賓挨拶・閉会挨拶 |

※進行の状況で時間は前後することがありますのでご了承ください。

シンポジウム趣旨

東日本大震災及び原子力災害によって失われた福島浜通り地域の産業を回復するため、国家プロジェクトとして「福島・国際研究産業都市構想」、いわゆる「福島イノベーション・コースト構想」が推進されている。このプロジェクトは、廃炉、ロボット、エネルギー、新たな農業などを進めるものであるが、このなかでも、福島第一原子力発電所の廃炉には、今後数十年が必要と言われている。

一方、2015年9月にニューヨークで開催された国連持続可能な開発のためのサミットで、参加193か国の合意のもとに採択された「国連持続可能な開発のための2030年アジェンダ(SDGs)」では、2030年までに世界が目指すべき17の目標が掲げられており、現在世界各国の様々な分野でこの目標が議論され実行されてきている。

福島浜通りの復興創生の在り方は、このSDGsの17の目標と密接に関連しており、このシンポジウムでは、これら二つの関連性を明確にすることにより、福島浜通りの復興創生を、より世界に対してアピールしていくことを目的とする。

主催／福島浜通り復興創生キャンパスコンソーシアム
東日本国際大学・いわき短期大学

後援／復興庁、文部科学省、福島県

サステイナブルキャンパス推進協議会(CAS-Net JAPAN)、ESD活動支援センター、東北地方ESD活動支援センター、日本ESD学会、福島民報社、福島民友新聞社、いわき民報社、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、FMいわき

福島浜通り復興創生キャンパス
コンソーシアム

本コンソーシアムは、東日本国際大学、医療創生大学、いわき短期大学、福島高专、いわき市、広野町、楡葉町、いわき商工会議所の8機関で構成。各機関の密接な連携協力により、「福島イノベーション・コースト構想」をはじめとした地域の活性化と課題解決に迅速かつ適切に対応し、地方創生の中核的役割を担いながら福島浜通り地域の復興創生、将来に向けた持続的な発展に寄与することを目的に、2018年9月に設立した。



申込方法

参加申込締切
5/17(金)

参加希望の方は、申込専用Webサイトに必要事項をご入力いただくか、裏面の申込書をFAXしてください。電話・メールはがきにてお申し込みの際は、①参加される代表者のお名前(フリガナ)②参加人数③代表者の連絡先をお知らせください。ご参加いただけない場合のみご連絡いたします。



お問い合わせ・申し込み窓口 学校法人昌平賢 地域連携研究センター

TEL.0246-25-8885 ※平日8:30~17:00受付 メール koryu@tonichi-kokusai-u.ac.jp ※24時間受付対応
FAX.0246-85-0231 ※24時間受付対応 はがき 〒970-8023 いわき市平鎌田字寿金沢37 地域連携研究センター

〒970-8023 福島県いわき市平鎌田字寿金沢37 TEL.0246-35-0001(代) FAX.0246-25-9188

※ご記入いただいた個人情報は、発表会に関するご案内・ご連絡、参加登録、及び本学からの情報提供のために利用します。また、個人情報を第三者に提供することはありません。参加お申込をいただいた時点で、個人情報の取り扱いについて同意されたものとみなします。

福島浜通りの復興創生と国連2030アジェンダSDGs

出演者プロフィール



大山 真未 おおやま まみ

文部科学省国際統括官

九州大学法学部卒業。1987年4月科学技術庁入庁。1992年7月ケンブリッジ大学大学院留学。1994年8月科学技術庁 科学技術振興局 研究振興課長補佐。2003年4月文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導室長。2007年4月国際連合大学高等研究所 アソシエイト・ディレクター、2012年8月同省 初等中等教育局 特別支援教育課長、2015年4月国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 理事。2017年4月文部科学省 研究開発局 大臣官房審議官(研究開発局担当)、2018年10月同省 国際統括官、現在に至る。



安栖 宏隆 やすずみ ひろたか

福島県企画調整部理事・(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構事務局長

東京大学工学部都市工学科卒業。1989年4月通商産業省入省。1994年6月仏国留学(ESSEC経済商科大学大学院)。2006年7月外務省在フランス日本国大使館参事官。2007年10月独立行政法人日本貿易保険総務グループグループ長。2009年7月国土交通省都市・地域整備局特別地域振興官。2012年7月独立行政法人日本貿易振興機構ホーチミン事務所長。2016年7月独立行政法人中小企業基盤整備機構理事。2018年8月福島県企画調整部理事兼福島イノベーション・コースト構想推進監、(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構事務局長



ケンタロ・オノ

一般社団法人日本キリバス協会代表理事

1993年にキリバス共和国に単身で高校留学し、高校卒業後も引き続き同国に在住。2000年に日本国籍者として初めてキリバス共和国に帰化。会社を経営しながら、キリバス政府内外の様々な役職を歴任、地球温暖化問題で世界的に脚光を浴びるアノテ・トン大統領(当時)の私設政策補佐官も務めた。2011年から日本在住。2018年まで在日本キリバス共和国名誉領事・大使顧問を務める。2017年には一般社団法人日本キリバス協会を設立、代表理事に就任し、キリバスにおける気候変動・地球温暖化が引き起こす人的側面の問題と、それに直結する SDGsに関する講演活動を日本や世界各国で行っている。



海藤 節生 かいどう せつお

エコロジカルシンガーソングライター(元HOUNDDOG BASS)

リオサミットをきっかけに仙台市主催の「環境フォーラムさんだい2001」実行委員となりテーマソング「共生」を作词作曲。エコロジカルシンガーソングライターとして環境啓発活動に参加、音楽活動を再開する。2005年持続可能な開発のための教育の10年(ESD)を機に、水源地に移住し環境保全活動・地域活性化事業に積極的に取り組むかわら人材育成に携わり、分野を超えた独自のネットワークの中で現在、事業者・消費者教育を入口としてSDGs2030達成に向け東北を中心に活躍している。尚絅学院大学総合人間科学研究所客員研究員、みやぎグリーン購入ネットワークESDコーディネーター等を歴任中



安部 義孝 あべ よしたか

(公財)ふくしま海洋科学館理事兼アクアマリンふくしま館長

東京水産大学増殖学科魚類学教室卒業。同年東京都恩賜上野動物園水族館勤務。1968-1969年クウェート科学研究所研究員。1983東京都多摩動物公園昆虫園。1992年東京都葛西臨海水族園長。1998年東京都恩賜上野動物園長。2000年4月より(公財)ふくしま海洋科学館理事長兼アクアマリンふくしま館長。2012年8月、みなとまちづくりマイスター認定。2013年7月、海洋立国推進功労者表彰受賞。主な著書「クウェートの魚」、「アラビア湾の魚」(共著)、「アクアマリン発」など。



吉田 恵美子 よしだ えみこ

特定非営利活動法人「ビーブル」理事長・いわきおてんとSUN企業組合代表理事

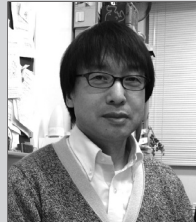
一旦教壇に立ったが、福島県いわき市に戻り専業主婦となる。社会とのつながりを求め、仲間と1990年ボランティアグループ「ザ・ビーブル」を立ち上げ、古着リサイクル活動を中心に住民主体のまちづくりを実践。東日本大震災後、被災者・避難者支援事業に取り組み、「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」、「フードバンクいわき」等の事業を手がける。こうした活動をきっかけに地域の3NPOの連携組織で住民自身の手による未来創りに取り組むべく、いわきおてんとSUN企業組合を組織。代表理事を務める。(財)いわき市国際交流協会理事・いわき市民間国際交流・協力団体連絡会事務局長・NPO法人みんなく副理事長・いわきアカデミア運営協議会委員・日本チャリティーショップネットワーク運営委員。



中村 隆行 なかむら たかゆき

東日本国際大学学長代行・学校法人昌平学園法人事務局長

早稲田大学理工学部建築学科卒業、文部科学省防災科学技術推進室長、国連国際防災戦略事務局(UN/ISDR)、北海道大学施設部長、京都大学施設部長、福島高専校長を経て現職(法人事務局長兼務)サステイナブルキャンパス推進協議会(CAS-Net JAPAN)の副会長を務め、主にアジアの各国における環境配慮型キャンパスの構築について支援。国際交流にも関心があり、これまで訪問した国・都市の数は32か国、130都市以上。



芥川 一則 あくたがわ かづのり

福島工業高等専門学校副校長・ビジネスコミュニケーション学科長・博士(情報科学)

専門分野:都市経済学
福島県職員を経て現職に至る。県職員時代には福島県立図書館の電算化を担当し、当初からネットワークシステムを導入する。
2011年の東日本大震災後は都市経済学の視点から浜通り地域の復興に関与する。広野町復興計画の委員長など地域の復興委員を委嘱される。いわき市に設置された応急仮設住宅と病院や商店街を結ぶ「復興支援バス」の設立運行に取組む。

↓参加申込書 FAX:0246-85-0231 ↓ 以下の参加申込書に必要事項を記入し、FAXを送信してください。

| | | | |
|---------|------------------------------|------|---|
| ふりがな | | 参加人数 | |
| 代表申込者氏名 | | | 名 |
| 所属名 | ※事業所で参加の場合は事業所名・部署名をご記入ください。 | | |
| 連絡先 | ・自宅 ・携帯電話 ・事業所 | | |

※ご記入いただいた個人情報は、発表会に関するご案内・ご連絡、参加登録、及び本学からの情報提供のために利用します。また、個人情報を第三者に提供することはありません。参加申込をいただいた時点で、個人情報の取り扱いについて同意されたものとみなします。